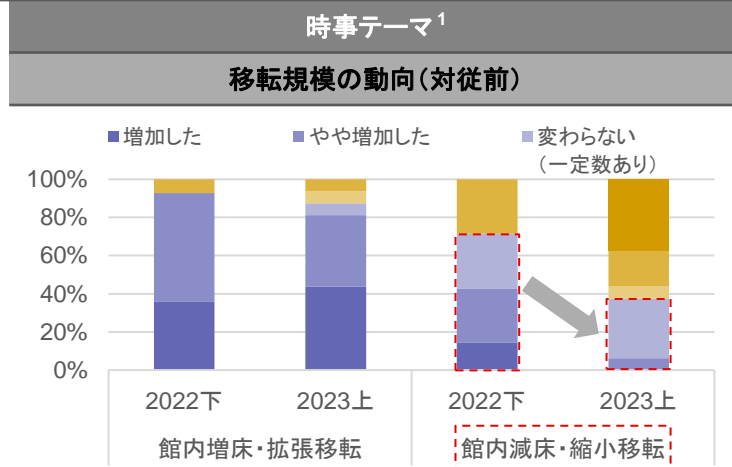


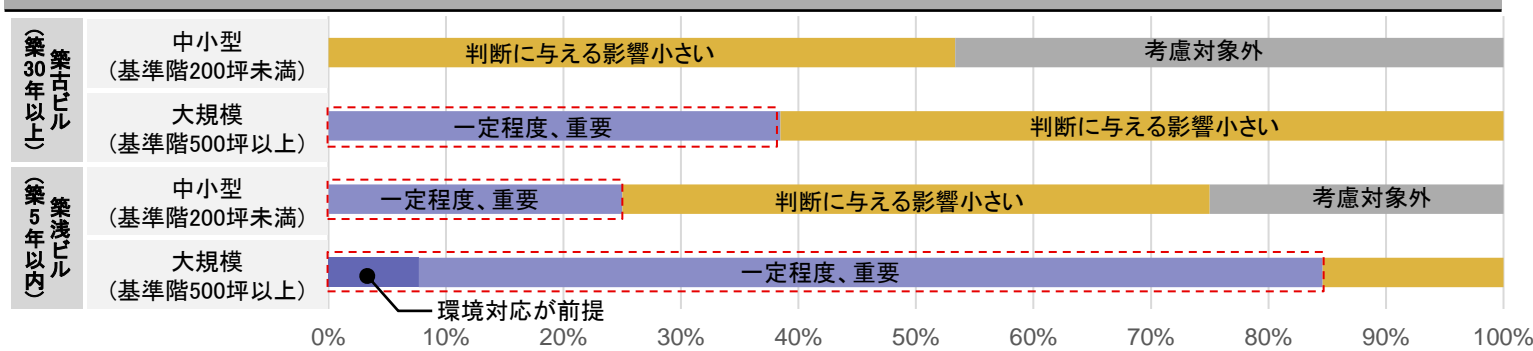
# 【大阪】オフィス賃貸市場の概要(2023年8月～9月調査)

## マーケット総括

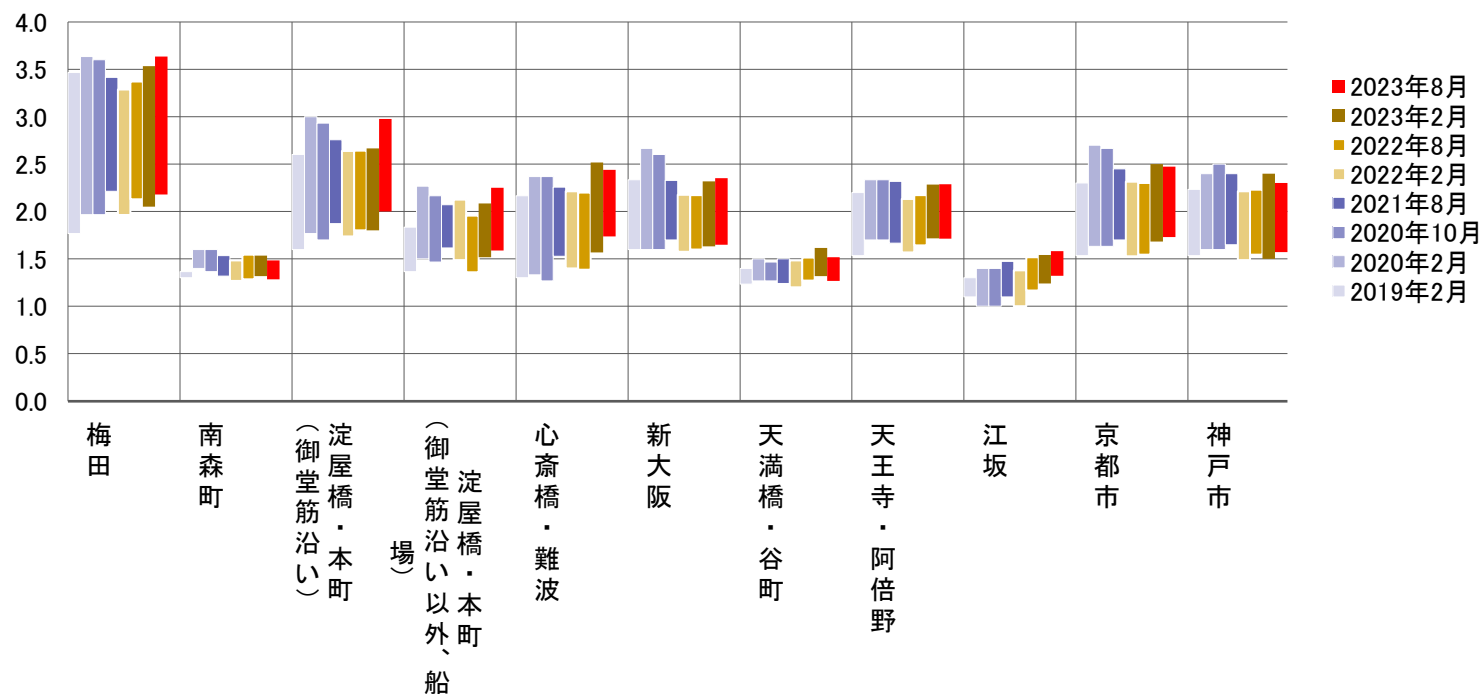
- 2023年は、例年比新築物件の供給規模が小さいことやテナント需要の回復を背景に賃貸市況は回復、コロナ禍前の状態に戻りつつある。
- 面積150坪未満の需要は旺盛。空室が生じても比較的早期に後継テナントの確保が進むなど、底堅い状況が続いている。
- 一方で、賃料3万円/坪を超えるような水準のビルについては依然として需要は弱含み。2024年以降の大量供給も控えており、今後リーシングの長期化・フリーレント等条件の柔軟化が懸念される。



## 想定テナント層のカーボンニュートラルに対する態度(規模・築年別)



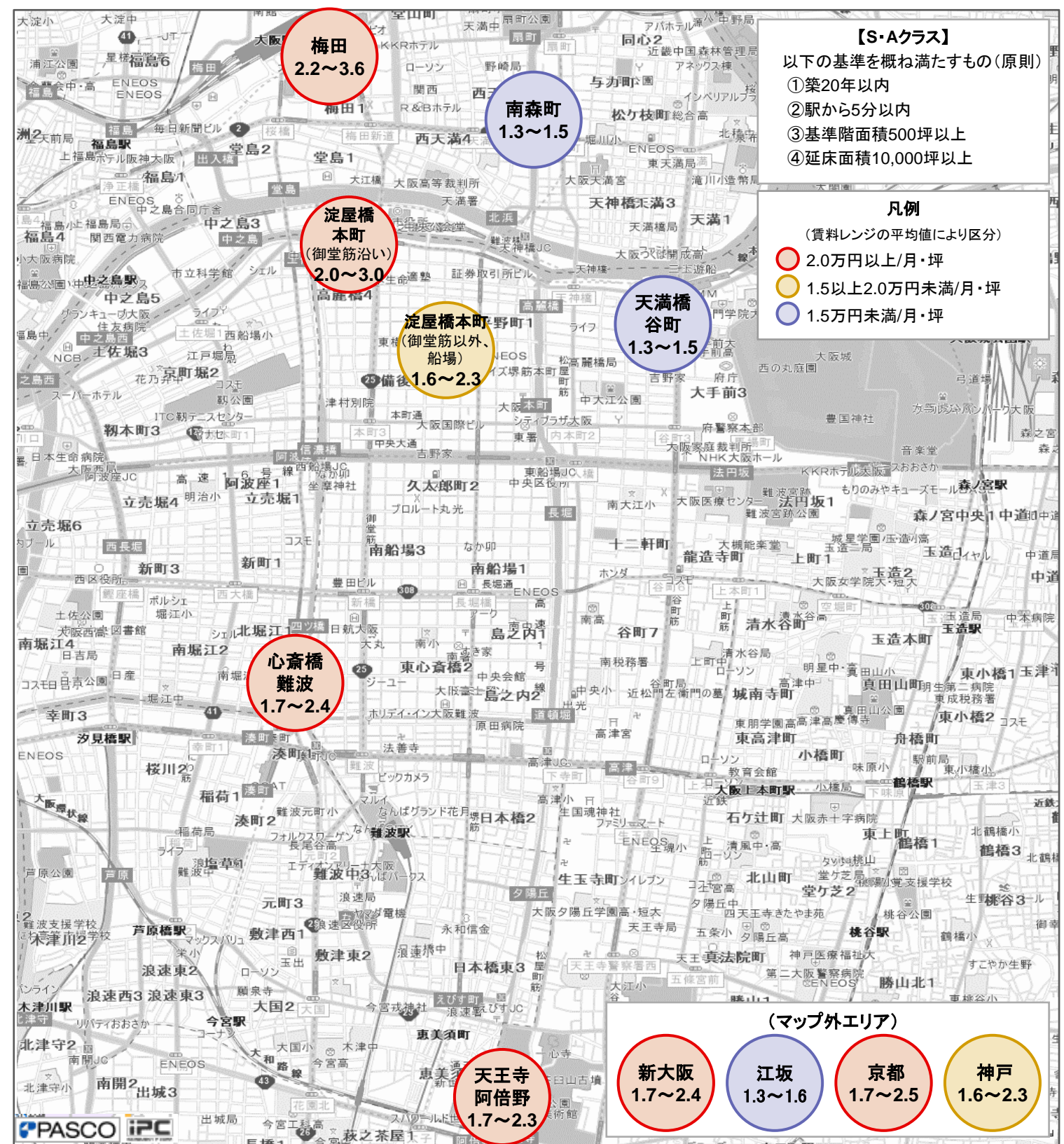
## S・Aクラス成約賃料レンジの時系列比較(万円/坪)



(注) 1. 時事テーマについては、東京・大阪・名古屋計21社の回答を集約

本資料に記載している見解等は本資料作成時における見解等であり、経済環境の変化や相場変動、税制等の変更によって予告なしに内容が変更されることがあります。また、記載されている推計計算の結果等につきましては、前提条件の設定方法によりその結果等が異なる場合がありますので、充分ご留意ください。本資料は、当社が公に入手可能な情報に基づき作成したものであり、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。施策の実行にあたっては、実際の会計処理・税務処理等につき、お客さま顧問会計士・税理士等に確認くださいますようお願い申し上げます。本資料の分析結果・シミュレーション等を利用したことにより生じた損害については、当社は一切責任を負いません。また、本資料は、特定の有価証券の価値等に関する助言又は金融商品の価値等の分析に基づく投資判断に関する助言を目的とするものではありません。本資料の著作権は三菱UFJ信託銀行株式会社に属します。従いまして、本資料のお取扱いはお客さま限りにおいてお願い申し上げます。

## エリア別S・Aクラス成約賃料レンジ(共益費込)



世界が進むチカラになる。

